

市史編さん室 事務局活動報告

(令和三年一月～二月)

I 古文書等調査の概況

一 古文書等調査の概況

市史編さん室では、市内にある古文書等の歴史史料の保存、整理、研究として、また各専門部会活動の資料に供するため、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

令和三年(二〇二二)一月から一二月の間に、新たに一三件の文書群(七、六〇五件)を借用して調査を行っている。一方、同一月から一二月の間に調査を終えた文書群は六件(二、三〇六件)となった。寄贈文書は四件あり、詳細は、一二二頁を参照されたい。終了文書は以下、個

別に解説を附した。この他にも数家整理が終了しているが、コロナ禍により返却を見合わせている。

また、埼玉県立文書館をはじめとする市外の史料保存機関で所蔵している古文書等についても、随時調査を進めているが、令和三年度も昨年度に引き続き、政府による緊急事態宣言発令等に伴い、臨時休館や利用時間制限等があり、計画どおりに調査を進めることができなかった。

(文責 水品洋介)

二 調査終了文書の紹介

万平町 田島武家文書(追加分) 一〇〇点

令和元年に調査した絵図類三点の追加として、同二年

二月に古文書類一〇〇点を借用した。その内訳は、近世文書が九点、近代以降の書類が九一点である。

田島家は、初代田嶋武右衛門が慶長二年（二五九七）に郷里の足立茶の販売を始めて以来、代々熊谷宿で茶商・穀物商等を営んだ。近世文書のうち四点は『商売往来』・『女大学』等の教本類の写本で、商家の女性に必要な教養として、江戸時代後期に吹上の本陣林家から嫁いだ春が持参したものである。また、嘉永二年（一八四九）の「御悔請納帳」には、「島村田島平内・同村田島武兵衛」の名前があり、島村（現・群馬県伊勢崎市）の田島家との交流もわかる。

近代以降は、冠婚葬祭に関する文書（受納帳等）が最も多く、他に帳簿類や桑畑の経営に関する文書、土地関連の書類等がある。明治二三年（一八九〇）に当主武兵衛が若くして亡くなってからは、幼い娘志んの成長を待ちながら、武兵衛の母春と妻いせが家を守ったが、同三五年（一九〇二）、志んに西野宮本家から富士三郎（宮本嘉楽の弟）を婿に迎えた。その婚礼の記録には、「祝儀諸費支払帳」・「祝儀受納控帳」・「祝儀送膳帳」等があるが、祝儀を受けた人名に黒田小源治、黒田蔵之助、高木鶴吉、

木本和吉、小澤仙蔵など当時の熊谷町の有力な商人が多く見られる。

また、家計に関しては、「諸入用控帳」・「買物帳」・「小遣帳控帖」など明治中後期の支出の詳細な記録があり、当時の熊谷町での諸経費や物価等を知るうえで参考になる。

なお、近代の田島家は堤内・堤外に多くの土地を所有したが、一部は桑畑であったため、富士三郎は銀行勤務の傍ら、その経営にも努めた。「桑分畝売上金控」等の記録には、売上や小作料の記載の他、契約書の雛型等もあり、当地方の桑園経営の記録として重要である。

熊谷町で連綿と続いた田島家のこれらの史料は、近世・近代の町中の商家の暮らしや歴史を知るうえで大変貴重である。調査終了後、令和三年三月に返却した。

（文責 小林久美子）

西別府湯殿神社文書 四八〇点

平成三〇年一〇月に借用した近世・近代文書である。文書群は大半が近代文書であり、特に明治期が多い。初見は、安政四年（二八五七）一二月「入置申一札之事（本

庄在小堀村長蔵義病死二付」である。文書群の特徴は、神社文書及び西別府村共有文書としての性格も強い。

近世では、前述した初見の安政四年二月「入置申一札之事」と、文久三年（一八六三）正月「取極議定扣帳」がある。年代不詳「乍恐以書付御慈悲奉願上候（芝居一件中瀬村外七ヶ村歎願書下書）」は中欠ではあるが、一件ものとして貴重である。

近代では、引継目録が散見する。西別府共有書類預り証が明治二七年（一八九四）、明治二八年、二九年、四一年、三〇年、昭和一七年がある。他には、明治二〇年推定「村中鎮守判頭持書類預り之証」がある。祭礼費は鎮守祭典雑費簿（諸費帳とも）が、明治二〇年から四四年まで二四冊残存する（明治二七年・二八年除く）。御獅子様は、明治七年三月「玉敷神社御獅子様諸入用帳」をはじめ、諸入用帳が明治一〇～一三年、明治一五～一八年の計八冊残存する。風祭では入用帳が、明治一二年、一二年、一三年～一五年、一七年～一九年の計八冊残存する。秋祭の諸入用帳は、明治一一年、一三年～一六年、一八年の計六冊残存する。芝居興行では、明治一三年一月に芝居興行願があり、この時の諸費記帳や、割メ書付

がある。明治二一年一〇月の興行では「興行御届」、「興行費諸払帳」、「興行金員収入簿」、「芝居興行約定証」が残されている。代参では、明治三九年「榛名山御代参記」がある。榛名講の代参は、現在も行われている（熊谷市史別編「民俗」）。改築では、明治四〇年代の改築関係があり、同四二年一月「本殿及拝殿改築並附属建物建築願」、同年十二月「拝殿新築並内殿ノ外宇改築願」等がある。戸口では四〇年三月「各組合人口個数明細簿」があり、大字西別府の一一組合の人口を調べたものである。選挙では、初穂組合の組合長・副組合長の入札選挙の投票用紙がまともまっている。

文書群は、近代の西別府の共有文書として引き継がれてきた帳簿類が充実している。整理が終了した後、令和三年六月、湯殿神社に（総経由）返却した。

（文責 水品 洋介）

中奈良 石坂健彦家文書 三九一点

令和二年六月に借用した近世・近代・現代文書である。文書群は、県史編さん時に調査されたものである。初見は、文化九年（一八一二）「覚（当申年田畑物成本途

小物成共皆済請取二付」である。全体として明治期の文書が多い。石坂家は県会議員等を務めた金一郎、衆議院議員等を務めた養平が著名である。

近世では、安政六年（一八五九）一〇月「未御年貢可納割附之事」がある。年貢納帳は、文政、天保六年（一八三五）、同一三年（一八四二）、嘉永二年（一八四九）の計四冊がある。他には、慶応元年（一八六五）「夏秋成御年貢割合帳」がある。戸口では、文政一〇年（一八二七）の真言宗門御改帳が二冊、元治元年（一八六四）の宗門人別改帳が二冊ある。助郷では、文政六年「中山道熊谷宿人馬継立助郷助成金取捌方一件規定書」、天保六年正月「組内人馬触当覚帳」がある。改革組合では、文政一〇年二二月の御取締筋両組御請書連印請書がある。用水では、天保三年（一八三三）「用悪水路御触之廉議定帳」、元治二年二月「河原堀浚丁場割野帳」がある。道中日記は、天保一二年（一八四二）六月「大西掛坂東順礼道中記」、嘉永四年（一八五二）二月「伊勢参宮并名所古跡控帳」、安政四年（一八五七）六月「北越中後道中日記」がある。伊勢参宮の関連として、同年十一月「伊勢講連名帳」がある。

近現代では、明治七年（一八七四）の熊谷県職員録、同一二〜二一年の埼玉県職員録がある。熊谷県関連では、同年「熊谷県一覽概表 完」がある。七名社では、明治一二年「会場記事 第老号」が重要である（『熊谷市史料集7 熊谷自由民権運動史料1 「七名社」の時代」所収）。交詢社では、明治一二年推定「交詢社社則」がある。談話会では、明治一六年二月「談話会会員姓名表」がある。年貢皆済は、明治二年推定正月「辰御年貢皆済目録」がある。地租改正では、明治一一年三月〜明治一二年二月「地租改正書類」がある。他には、明治二年一〇月〜同四年四月「公事諸書類綴込帳 第老号」がある。土地では、明治二年「畑方反別名寄帳」、「田方反別名寄帳」、同七年三月反別名寄帳、さらに、同一〇年四月「奈良新田分所有地改正段別取調書抜帳」、「上奈良村所有地改正田畑段別取調帳」がある。議定は、明治三年一〇月「議定書」がある。戸口は明治二年八月「五人組帳」がある。用水は、用水費徴収帳がまとまっており、明治三九年（一九〇六）〜四四年、大正七年（一九一八）がある。社寺は、明治五年八月「社寺絵図面書上」をはじめ、「社寺物成六箇年取調書上帳」、「武蔵国幡羅郡中奈良村朱印

地貢額帳」、「社地上地代金積書上帳」がまとまっている。小作は、大麥小作取立帳が、明治四一年〜四三年、大正四年の四冊ある。米小作取立帳は、明治四四年、大正元年〜三年、同一一年、昭和四年の六冊ある。他には、昭和一二年〜一八年の畑小作帳がある。雑誌は、明治二〇〜三〇年代の雑誌、埼玉平民雑誌、埼玉民声、新埼玉、八州などがある。日記は、石坂養平が記した、昭和一八年〜二八年の日記がまとまっている。教育では、明治一三年「学校生徒人員調」、同年「学校費割合二付人員調帳」、同年学校費取立帳がある。文化では、明治一二年一月「麗和吟社例月課題二首各体」、同年「淡水社例月課題二首各体」等、各社に関係したものである。文書群は、近世・近代の中奈良の歴史を補充する内容となっており、石坂金一郎・養平関連史料もあり貴重である。文書は、整理が終了した後、令和三年六月、所蔵者に返却した。

(文責 水品 洋介)

飯塚 鈴木進家文書 (追加分) 四〇五点

平成二五年一二月に追加借用した近世・近代・現代文

書である。文書群は過去に三度借用して、その都度返却している。本稿では、一次借用から四次借用まですべてを集計した内容とする。本文書群の総数は二二二九点であり、年代は近世が半数以上を占める。文書群の初見は、宝暦一一年(一七六一)九月の「居屋敷田畑持高名寄手帳」である。内容としては、「鳶川通字仁手用水堰備前堀通御定式御普請所古来仕来訳書帳(写)」が慶長九年(一六〇四)以来のことを扱っており、古いものとなる。

近世では、鈴木家は旗本領主深津弥七郎の勝手賄方を務めていたので、文政六年(一八二三)の旗本勝手賄等に関する文書がまとまっている。他には、旗本用人から飯塚村の組頭中に昨年分利息二八両の返済延納を願った書状や、寛政二年(一七九〇)の善兵衛ら二名による旗本深津弥一郎用人への百姓代設置の歎願書などがある。鷹場関係は、御鷹御用に際して鷹匠等が払う木銭の証文、鷹匠が泊まる際の宿を用意するようにとの先触や、捉飼に必要な人足の依頼の文書がある。年貢関係は三七点あり、年貢金の受取証や、年貢皆済記録が散見する。用水関連は二〇点あり、文政六年七月の「議定一札之事」では、二年前の同四年に備前堀用水の議定を交わしたもの

に加えて、領主に進達して再議定したものである。仁手用水堰普請では、「寫川通字仁手用水堰備前堀通御定式御普請所古来仕来訳書帳(写)」が貴重である。仁手堰普請組合は、飯塚村を含む二四カ村で構成されていた。慶長九年二月、関東郡代伊奈備前守の見立て・奉行石田七左衛門により、烏川の水を引き受け、児玉郡仁手村地内を掘割し、仁手堰備前堀とした。以後、度々普請が行われ、本史料には普請掛り名・普請諸色人足代等が記載されており、天明九年(一七八九)までの仁手堰普請の経緯がうかがえる。また、享保一八年(一七三三)・天明七年(一七八七)の仁手堰普請の詳細な状況が確認できる。地誌御調御用では、地誌御調御用出役からの廻状がある。

近代は、明治八年(一八七五)から確認できる。全体的に村政に関連した史料が少なく、家関係の土地、金融関係が多い印象である。政治は、大正二五年(一九二六)一二月「幡羅俱樂部設立趣旨・同規約」がある(同史料は『熊谷市史 資料編8 近代・現代3 (妻沼地域編)』に全文掲載済)。地所売渡は、地所売渡証があり、明治一八年から確認でき、地主としての性格が強い。教育では、

修業及び卒業証書が多数残存しており、明治八年八月の太田小第八級卒業証書をはじめ、同二六年(一八九三)の太田村在修徳尋常小学校第一学年修業から、昭和三年(一九二八)の太田尋常高等小学校の修業証書等がある。他に教科書等では、明治期の高等小学校教科書、雑誌、昭和期では尋常小学校唱歌教科書等がある。他には、大正期の手帳が五点ある。

文書群は、近世・近代の飯塚の歴史を概観できる良質なものである。整理を終えた後、令和三年九月、所蔵者に返却した。

(文責 水品 洋介)

上奈良 富岡由行家文書 八八一点

平成二五年七月に借用した近世・近代・現代文書である。富岡家は上奈良村の並木郭の「たねや」という屋号の地主であり、明治期から養蚕農家として蚕卵の生産を行っていた。定治は元埼玉県職員で、戦後の地域農業を指導していたという。文書群は、明治期と昭和期が多い。書籍類の初見は、寛永一五年(一六三八)の蒙抄抄である。書籍類以外の初見は、安永六年(一七七七)一二月

「(二筆天道自然の明秘)」の軸装である。

書籍で、刊本は四二五冊、写本は一六冊と文書群の半数近くを占める。書籍の分類は、歴史・漢史・薬学・易学などが挙げられる。寛永一五年正月「蒙求抄」、正保三年(一六四六)「唐三體詩註」、一七世紀刊行の書籍も散見して貴重である。熊谷関係では、昭和二五年(一九五〇)二月「人生観 第三十一号」は、編輯者が熊谷の矢野泰助、印刷所は箱田の雄文閣であった。昭和二五年一二月の熊谷農業高等学校同窓会「会員名簿」がある。

近代・現代では、奈良村向河原耕地整理組合に関する史料が多い。昭和七年(一九三二)推定の経費収支更生予算書をはじめ、同九年の設計書変更認可申請綴、工事就労者出面簿、同一〇年の工事完了届、同一一年の換地処分費収金通知書綴・同費交付金領収書綴等、昭和戦前の耕地整理組合の工事関係がまとまっている。整理図は、昭和戦前推定のものが複数ある。産業は、昭和一三年の並木養蚕実行組合の「組合規約」がある。種豚では、「並木部落会小麦作付共同作業日誌」があり、昭和一八年一月二〇日から一九年一〇月二一日までの作業記録である。農業では、昭和二三年九月の並木農事実行組合「田

畑桑畑集計簿」がある。養蚕では、昭和一三年並木養蚕実行組合の「組合規約」が貴重である。大正一二年(一九二三)の写真「十週年記念 奈良村養蚕組合」がある。戦後では、昭和四一年九月「蚕室新築日誌 第一・第二期工事」が残存する。小作では、大正期推定「田畑小作台帳」、昭和八年四月の開墾地小作徴収簿・納入簿がある。戦後では、昭和二四年推定「契約書調査報告(地主小作人)」が残存する。地図では、明治一九年(一八八六)十一月「並木郭字絵図 全」がある。文化は、短冊が一点あり、代五渡など著名なものが残存する。軸装が二点あり、小杉香雪、玉田温卯などが著名であろう。絵葉書では、近代の埼玉県立熊谷農学校奉安殿が一点ある。家関係では、「富岡家身分明細書」がある。文書群は、特に近代・現代の上奈良の耕地整理に関連した史料が豊富にある。

(文責 水品 洋介)

万平町 榎本文岳家文書 四九点

令和三年一月に熊谷市立図書館で借用し、市史編さん室で整理した近世・近代文書である。所蔵者は元々久保

島村の出身であり、文書群も久保島村に関連したものが
多い。文書群の初見は、書籍では、享保十一年（一七二六）
「たかさご下」で、古文書では、安政四年（一八五七）「三
堰議定写」である。文書群は書籍が半数を占めるが、次
いで近世期が多い。

近世では、年貢関係が一点、天保十一年（一八四〇）
十一月「殿様高御年貢割付之事外ニ諸々地方書附写」が
ある。用水は、初見の安政四年「三堰議定写」のみであ
る。交通では、嘉永三年（一八五〇）推定「御伝馬一
条」、慶応元年（一八六五）六月「熊谷最寄村高明細帳・
御伝馬増助郷差邑書上写」がある。村では、嘉永三年正
月「村名々案内帳」がある。文化では、享和二年（一八
〇二）極月に榛沢郡半沢新田村の田嶋幾八郎が画した
「画帖」がある。本文書群の同時代史料によると、榎
本幾八郎が散見しており、田嶋幾八郎が榎本家に婿養子
に入り、榎本幾八郎となったものと思われる。また、画
帖の最終丁には、榎本北流斎粹翁七〇歳とある。他では
「榎本粹翁」と散見する。时期的にみて、榎本幾八郎が
榎本粹翁と推察される。情報では、弘化三年（一八四六）
推定「異国船渡来文書写」や、嘉永元年（一八四八）

葉月「光明山観照院地録御巡見書上住主不埒」「」等
の写しがある。

近代では、貢租関係が、明治四年（一八七二）二月「武
州幡羅郡去午貢米御蔵納諸入帳」があり、納方会所で
あった久保嶋村の控えである。養蚕では、明治三六〇
四一年の「製糸之通」があり、碓氷社熊谷組から製造人
榎本鶴松に宛てた通帳である。

書籍の刊本は、前述の享保十一年「たかさご下」で、
他には元文五年（一七四〇）推定「画巧潜覧」（巻一〜六）
等がまとまっている。写本では、文政六年（一八二三）
正月下旬「悪狐三国伝」（巻一〜一五）等がまとまっている。
文書群は、久保島村についての文書が少ない中、近世
後期・近代の久保島についての文書ということで貴重で
ある。整理が終了した後、九月に、市立熊谷図書館立会
いのもと所蔵者に返却した。

（文責 水品 洋介）

佐谷田 井上貴美子氏寄贈資料 二二点 一一二頁

石原 岩田豊氏寄贈資料 三六点 一二五頁

市内 個人旧蔵文書 一点 一二七頁

さいたま市 野口克己氏収集文書 九点 一二九頁

最後に、古文書等の調査に御協力いただいた所蔵者、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

Ⅱ 近代・現代部会関連調査

市民の生活文化の一項目として、熊谷市の公衆浴場（銭湯）の変遷等に関して事務局で次のとおり調査を行った。

銭湯経営者からの聞き取り調査を桜湯・山崎伸弘氏、喜美の湯・保倉謙治氏、見晴湯・松田真市氏から、それぞれの創業から現在に至る経過、建物・設備・燃料等に関する営業形態、営業時間や休業日、利用者の特徴等について実施した。併せて、銭湯に関する資料・写真等の借用及び写真撮影を行った。

また、埼玉県内の銭湯経営者の組織である埼玉県公衆浴場業生活衛生同業組合では、「埼玉県公衆浴場銘鑑」

等の写真撮影、「埼玉六十年のあゆみ」「創立77周年記念誌埼玉のあゆみ」の寄贈を受けた。浴場銘鑑は同業組合加入の銭湯名簿となっているもので、隔年発行であり昭和四一年度から令和三年度までのうち、欠落はあったものの熊谷市内の銭湯の名称、経営者氏名、住所等について年を追って確認することができた。

県立文書館においては、中奈良野中家文書（天保一三年六月五日 諸職人請印帳諸商人請印帳案合冊等）の調査を行い、当時の湯屋の入浴料や職人の手間賃等の確認ができた。

熊谷保健所では、事業年報により保健所管内の一般及びその他の公衆浴場数の確認のほか名称、所在地・種別等の情報提供を受けた。

これら銭湯関係の調査結果詳細については、本誌中の「熊谷の銭湯の変遷」を参照されたい。

また、熊谷に因みのある地名や人物、史蹟名勝などが唄われた音楽（音頭・小唄・囃子等）については、熊谷小唄保存伝承者育成会代表の清川忠幸氏から聞き取り調査を行った。併せて、レコードやCD等の音源については関係者からの寄贈を含め収集を行った。

なお、埼玉県行政文書調査及び新聞記事調査については、本年度は進捗がなかったため、前号を参照されたい。

(文責 山本喜久治)

Ⅲ 行政文書の整理・保存

熊谷市文書管理規程に基づき、保存期限満了の行政文書が一括廃棄される際に、市史編さん室では歴史公文書等として重要な文書を収集保存している。

本年度は、令和三年三月末で保存年限満了となる文書から、保存箱数で一三九箱分の行政文書を収集した。行政文書の保存年限は五年、一〇年、三〇年(旧永久保存扱い)のものである。

収集後の整理作業は、令和三年度分が終了し、中性紙保存箱で四五箱となった。

また、保存箱の管理方法として、年度ごとに箱番号をつけていた従前の方法では毎年度同じ箱番号ができることから、年度を加えた箱番号とし、すべての保存箱を一括管理できるように変更した。

(文責 山本喜久治)

Ⅳ 市政宅配講座等への派遣

令和三年

四月三日 市立熊谷図書館(以下「熊谷図書館」) 担当 蛭間

直実・蓮生を学ぶ会講演会「戦国時代の成田・別府・

奈良氏と集福寺・香林寺」

五月二五日 熊谷図書館 担当 水品

郷土史講座「妻沼の近現代 総論」

五月三一日 妻沼中央公民館 担当 小林

めぬまガイドボランティア阿うんの会研修会講演「史料から見る葛和田河岸及び周辺地域について」

六月八日 熊谷図書館 担当 蛭間

郷土史講座「手紙から見えてくる新たな荻野吟子像」

九月二二日 本庄市児玉文化会館 担当 蛭間

本庄市市民総合大学公開講座「歴史資料から見えてきた新たな荻野吟子像」

一〇月二七日 ホテルガーデンパレス 担当 小林

第五地区民生委員児童委員協議会日帰り研修「熊谷の

幕末から近代 宿場から町への変遷を見る」

幕末から近代 宿場から町への変遷を見る」

一月二五日 中条公民館 担当 水品

市政宅配講座「井田友平の生涯とメヌマポマードの創始」

二月九日 さくらめいと（会議室） 担当 水品

直実市民大学講座「井田友平の生涯とメヌマポマードの創始」

二月一六日 三尻公民館 担当 小林

市政宅配講座「パイロット創業者 並木良輔」

二月二二日 立正大学熊谷校舎 担当 蛭間

立正大学講義（地方自治論）「熊谷市史編さん事業について」

V 市史編さん業務日誌

【令和二年度】

- 1・6 中世石造物調査・写真撮影（別府地区）
- 1・11 中世石造物調査・写真撮影（別府地区）
- 1・14 『熊谷市史調査報告書 中世の石造物』（以下、『中世の石造物』）巻頭用写真撮影
- 1・18 玉井村役場文書調査（市立熊谷図書館（以下、熊谷図書館））
- 1・18 中世石造物調査（西別府観音堂）
- 1・19 古文書調査（行田市郷土博物館）
- 1・25 熊谷町役場文書等調査（熊谷図書館）
- 1・25 中世石造物調査・写真撮影（熊谷図書館）
- 1・28 中世石造物調査・写真撮影（玉作ほか）
- 2・1 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館）
- 2・8 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館）
- 2・16 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館）
- 2・22 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館）
- 2・25 第四回近世専門部会巻担当者会議（オンライン）
- 2・26 弥藤吾個人蔵板碑受人
- 3・8 仏像・仏画専門部会調査（上奈良在家集会所）
- 3・12 『中世の石造物』出張校正（群馬県前橋市朝日印刷工業（株））
- 3・16 古文書調査（県立文書館）
- 3・22 熊谷市史編さん委員会（妻沼中央公民館）
- 3・24 古文書等調査（県立文書館）
- 3・27 第三回近世専門部会会議（熊谷図書館）
- 3・31 『中世の石造物』刊行
- 3・31 『熊谷市史料集7 熊谷自由民権運動史料1「七名社」の時代』刊行
- 3・31 『熊谷市史研究第一三三号』刊行
- 3・31 万平町田島武家文書返却
- 4・3 直実・蓮生を学ぶ会講師派遣（熊谷図書館）
- 4・6 埼玉県行政文書調査（県立文書館）
- 4・7 埼玉県行政文書調査（県立文書館）
- 4・9 佐谷田井上貴美子氏寄贈資料受入
- 4・12 間々田和夫氏収集上須戸村文書（複写）借用
- 4・13 埼玉県行政文書調査（県立文書館）
- 4・14 埼玉県行政文書調査（県立文書館）
- 4・14 熊谷市郷土文化会大里用水現地研修会（玉井堰幹線用水路）
- 4・20 仏像・仏画専門部会調査（上奈良在家集会所）
- 4・21 妻沼須田家資料調査（大福茶屋さわた）
- 4・22 深谷市小島欽一家文書（別府小林公幸氏管理）借用
- 4・23 古文書等調査（県立文書館）
- 4・23 佐谷田井上貴美子氏寄贈資料追加受入
- 4・24 行政文書調査（県立文書館）
- 4・26 江波内田家資料調査
- 4・26 上須戸村文書閲覧対応
- 4・26 楊井小池家文書（複写）借用・返却
- 4・26 西別府栗原家資料返却追加借用
- 4・27 古文書調査（県立文書館）
- 5・7 江波内田家文書借用
- 5・12 熊谷市郷土文化会大里用水現地研修会（中央公民館）
- 5・14 第一回近世専門部会巻担当者打合せ（オンライン）
- 5・17 歴史公文書等選別・収集（19日・24日、本庁舎ほか）
- 5・18 仏像・仏画専門部会調査（上奈良在家集会所）
- 5・25 郷土史講座（講話）（熊谷図書館）
- 5・26 深谷市小島欽一家文書（別府小林公幸氏管理）調査
- 5・30 第一回近世専門部会会議（商工会館）

- 5・31 めぬまガイドボランティアアウムの
会研修会講師派遣(妻沼中央公民
館)
- 6・22 郷土史講座(聴講、講師〓小林壽朗
編集委員)(熊谷図書館)
(オンライン)
- 6・22 第二回近世専門部会卷担当者会議
(オンライン)
- 7・28 深谷市小島欽一家文書(別府小林公
幸氏管理) 借用
- 6・1 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
郷土史講座(聴講、講師〓重田正夫
編集委員)(熊谷図書館)
- 6・23 西別府湯殿神社文書返却
宝篋印塔等調査(野口達郎編集委員
に同行)(上中条実相院)
- 8・1 第二回近世専門部会会議(熊谷図書
館)
- 6・2 仏像・仏画専門部会調査準備(上奈
良在家集会所)
- 6・25 東別府権田不二夫家文書調査
埼玉県地域史料保存活用連絡協議会
(以下、埼玉協) 地域史料実務研修
会(宮代町郷土資料館)
- 8・1 荻野吟子史料集打合せ(飯能市立博
物館)
- 6・8 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
郷土史講座(講師)(熊谷図書館)
- 8・6 東別府権田不二夫家文書調査
熊谷雑学研究会(緑化センター)
- 6・8 郷土史講座(講師)(熊谷図書館)
葛和田斎藤健一家文書受入
- 8・9 深谷市原田修氏所蔵資料借用
妻沼聖天山奉納絵馬調査
- 6・10 下増田観音寺文書返却
筑波熊谷聖天宮文書返却
- 8・25 第四回近世専門部会卷担当者会議
(オンライン)
- 6・14 中奈良石坂健彦家文書返却
第一回荻野吟子史料集編集会議(オ
ンライン)
- 9・6 第三回荻野吟子史料集編集会議(オ
ンライン)
- 6・15 熊谷市郷土文化会大里用水現地研修
会(大麻生堰用水路他)
- 9・8 筑波桜湯聞き取り調査
熊谷雑学研究会(仲町周辺)
- 6・15 郷土史講座(聴講、講師〓老川慶喜
編集委員)(熊谷図書館)
- 9・15 熊谷市郷土文化会大里用水現地研修
会(成田堰用水路他)
- 6・17 刊行物送致(県立図書館)
仏像・仏画専門部会調査準備(上奈
良在家集会所)
- 9・21 飯塚鈴木進家文書(追加分) 返却
本庄市市民総合大学公開講座講師派
遣(本庄市児玉文化会館)
- 6・21 仏像・仏画専門部会調査(上奈良在
家集会所)
- 9・24 古書展視察(東京古書会館)
古文書調査(県立図書館)
- 6・22 さいたま市野口克己氏収集文書追加
受入
- 7・19 仏像・仏画専門部会調査(上奈良在
家集会所)
- 9・27 近世石碑調査(妻沼、上奈良ほか)
近世石碑調査(青山)
- 7・17 熊谷市郷土文化会大里用水現地研修
会(中央公民館)
- 9・28 近世石碑調査(青山)
- 7・16 仏像・仏画専門部会調査準備(上奈
良在家集会所)
- 9・24 古文書調査(県立図書館)
- 7・13 沖松信夫氏聞き取り調査(中央公民
館)
- 9・22 本庄市市民総合大学公開講座講師派
遣(本庄市児玉文化会館)
- 7・12 熊谷雑学研究会(宮町周辺)
熊谷雑学研究会(仲町周辺)
- 9・21 飯塚鈴木進家文書(追加分) 返却
本庄市市民総合大学公開講座講師派
遣(本庄市児玉文化会館)
- 7・12 第二回荻野吟子史料集編集会議(オ
ンライン)
- 9・15 熊谷市郷土文化会大里用水現地研修
会(成田堰用水路他)
- 7・7 第三回近世専門部会卷担当者会議
調査
- 9・8 筑波桜湯聞き取り調査
熊谷雑学研究会(仲町周辺)
- 7・7 さいたま市三木伸一氏収集文書追加
調査
- 9・6 第三回荻野吟子史料集編集会議(オ
ンライン)
- 7・25 深谷市小島欽一家文書(別府小林公
幸氏管理) 調査
- 8・25 第四回近世専門部会卷担当者会議
(オンライン)

10・27	市政宅配講座講師派遣（ホテルガー					
10・26	家集会所） 仏像・仏画専門部会調査（上奈良在	12・7	第五回荻野吟子資料集編集会議（オ	12・22	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・22	古文書調査（群馬県立文書館）	12・5	第四回近世専門部会会議（商工会	12・20	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・19	群馬県桐生市視察対応	12・1	別府権田不二夫家文書現地調査	12・9	直実市民大学講師派遣（さくらめい	と）
10・18	深谷市原田修氏所蔵資料返却	11・29	仏像・仏画専門部会調査復旧作業	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・15	荻野吟子史料集関係調査（国立国会	11・25	市政宅配講座講師派遣（中条公民	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・12	美土里町矢萩家文書寄贈受入	11・24	第一回熊谷市史編さん委員会（熊谷	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・11	熊谷小唄保存会清川忠幸氏聞き取り	11・22	仏像・仏画専門部会調査（上奈良在	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・11	箱田保倉家（旧喜美の湯）聞き取り	11・18	熊谷市郷土文化会大里用水現地研修	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・8	第五回近世専門部会巻担当者会議	11・15	近代・現代専門部会調査・資料借用	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・6	史料貸出（宮代町郷土資料館）	11・8	第六回近世専門部会巻担当者会議	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・6	位牌調査（野口編集委員に同行）（肥	11・8	第六回近世専門部会巻担当者会議	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・4	上奈良富岡由行家文書返却・追加借	11・5	立正大学文学部博物館学芸員課程施	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
10・3	第三回近世専門部会会議（熊谷図書	11・2	近世石碑調査（永井太田、上奈良、	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
9・29	万平町榎本文岳家文書返却	10・29	埼玉協主管課長等研修会（所沢市生	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
	良在家集会所）		デンパレス）	12・9	立正大学法学部・地球環境科学部講	座講師派遣（立正大学熊谷キャンパ
				12・7	埼玉県公衆浴場業生活衛生同業組合	関係資料調査（県立文書館）

- 12・22 『熊谷市史資料編5 近世3 (妻沼地域編)』における県保管指定文書の掲載に係る打合せ(県立文書館)
- 12・23 伊勢町見晴湯聞き取り調査
- 12・27 熊谷市史自然編(地形・地質)に関する打合せ(立正大学熊谷キャンパス)

※本業務日誌は、事務局が関わったものについて記載しています。